

〔大城 勝議員 登壇〕

○3 番 大城 勝君 3 番議員、大城 勝です。通告書にしたがい、これから 4 つの質問を一括して述べます。質問 1. 「町民の日」制定について。(1) 昭和 55 年 4 月 1 日は、南風原町が村から町へと町制が施行された記念日である。その後 36 年目になるがいまだ特別の日としての名づけがされていない。その日を「町民の日」として位置付け、町の今後の発展を願い祝うことができないか。(2) 町民の日の前後を、町特産物や町文化などを内外に P R する週間として設定できないか。(3) 町特産物を P R する取組として次の 4 点を提案します。①南風原かぼちゃは、高級品のイメージが強く、町民の日常の食卓に上り難い。町民の日に向けて、町民の口に入りやすいよう町行政は農協や商工会などの関係機関と連携を取るなどの後押しができないか。②町民の日は、学校給食メニューは、かぼちゃやへちまなどを使った料理にして、子どもたちに南風原町の特産物を印象付けられないか。③町民の日の中央公民館への式典出席者には、琉球絃での着衣を正装として推奨してみてはどうか。④町民の日は南風原文化センターへの町外の入場者にも無料にしてお祝いを分かち合えないか。

2. 南風原町歌、校歌の町民への普及について (1) 南風原町歌の町民への浸透度はまだまだの感がします。インターネットをとおして、町民への音声提供ができないか。町のホームページから町歌の楽譜は出力できるが、音声ファイルの南風原町歌は出力可能か。

(2) 南風原町歌や町内の幼稚園、小中学校の校歌を C D 盤に作製して町民に頒布できないか。学校行事、町行事で、町民が一体になって歌えるためにも C D 盤での普及方法は効果的と考えます。

次に、3. 津嘉山北土地区画整理事業の進捗状況は。(1) 津嘉山北土地区画整理事業の着手年度はいつか。その後の事業の進捗状況はどうなっているか。(2) 『津嘉山北土地区画整理事業ニュース』がホームページでも町民はその情報で工事の進捗状況が分かる。直近のニュース配信はいつなされたか。

次に、4. 児童厚生施設である本町の児童館の在り方について問います。(1) 子どもたちの遊びの拠点としての町内 4 つの児童館を、食事、食育等もできるように機能拡大して、子どもの貧困問題解決にも対応可能な施設に強化できないか。(2) 児童館の機能拡大をする上で、児童厚生員以外にもスタッフを増やし、より充実した子ども支援の体制を構築できないか。以上、質問します。

○議長 宮城清政君 副町長。

○副町長 国吉真章君 質問事項 1 点目、「町民の日」の制定について (1) にお答えします。質問の昭和 55 年 4 月 1 日は村政から町政へ移行した日を記念して、町では町の表彰及

び顕彰に関する規則で毎年の 4 月 1 日は町制施行記念日と規定しております。その日は、同条例で地方自治法教育文化等で功績のあった者を表彰しその功績を讃えるため表彰式典並びに祝賀会を開催しております。この式典は、ご提案のある今後の町政発展を願う意味合いもありますので、今後も同様に行っていきたいと考えております。

(2) についてです。町の特産品や文化を含めた町の PR は、適宜実施しております。今後も新たな PR 方策を検討しつつ、本町の情報発信に取り組んでまいります。

(3) についてであります。まず①については、A コーブ津嘉山店とくがに市場での販売や南風原物産展「花と食のフェスティバル」等において販売するなど、町民に手が届きやすい工夫を実施しております。②については、学校給食メニューのなかで年間をとおして南風原町産かぼちゃやへちまなどの特産品を取り入れており、給食時間における校内放送でメニューに使用されていることが紹介されております。③についてです。琉球絣着衣については、すでに町長を先頭に実施している着衣行動により、町民の皆様の意識にも根付きつつあるように感じております。今後とも町職員や関係機関の職員などが率先して琉球絣を活用するなどの推奨を実施していきたいと思います。④についてです。町外入場者の無料については検討しておりません。

質問事項 2 点目の南風原町歌、校歌の町民への普及について (1) にお答えします。まず、ご提案について感謝いたします。さっそく本町ホームページに町歌の楽譜と音声ファイルを公開しております。町民の皆様いろいろな場面で演奏し歌っていただきたいと思います。(2) についてお答えします。町歌と校歌の CD 盤頒布に関しては、厳しいと考えておりますが、町歌については様々な行事で歌っていただけるよう普及活動に努めます。また、各幼小中学校の校歌についても、各学校のホームページなどで配信できるよう検討してまいります。

質問事項 3 点目、津嘉山北土地地区画整理事業の進捗状況 (1) についてお答えします。事業の着手年度は、平成 5 年度からで、事業進捗については全体事業費で約 72 パーセントの状況となっております。(2) についてお答えします。直近では、平成 26 年度 4 月 1 日に『第 27 号津嘉山北土地地区画整理事業ニュース』を町ホームページで配信しております。

質問事項 4 点目、児童厚生施設である本町の児童館の在り方について (1) と (2) は関連しますので一括してお答えします。児童館は、児童福祉法第 35 条第 3 項の規定に基づき、児童に健全な遊び場を与えてその健康を増進し情操を豊かにすることを目的に設置しているものです。その目的に沿って事業を展開しておりますが、ご指摘の子ども達の貧困対策の取組においても児童館の活用が有効と考えられることから、その活用方法等については人材も含め検討を始めているところです。以上です。

○議長 宮城清政君 3 番 大城 勝議員。

○3 番 大城 勝君 答弁ありがとうございました。それでは、これから一問一答でいき

たいと思います。4 月 1 日を町民の日と位置付けてはどうかの私の質問ですが、答弁では 4 月 1 日を町制施行日と規定していて今後も同様に行っていきたいとのことでした。われわれ人間社会では、生まれると特定な日と個性ある者として名付けがされます。わが町南風原にも 4 月 1 日という誕生日があり、それこそ南風原の町民に親近感のある「町民の日」と名付けをしてはどうかとの私の質問でありました。巷では、4 月 1 日はエイプリルフールと言われ、有難く思われていない節もありますが、私は全く逆に解釈して良い日と理解します。つまり「4（良）1（い）日」であります。それゆえ、町民の「良い（4・1）日」は、私からすれば理に適っているわけです。このわが南風原町が誕生した 4 月 1 日の良い日を、町民の日として名付けるとすれば、どのように感じるのかをお聞かせください。

○議長 宮城清政君 総務部長。

○総務部長 新垣吉紀君 どういう感じかと問われましたけれども、町の前は村がありました、それがいつだったかまだ調べてはいないのですが、昭和 55 年 4 月 1 日が村から町になった日ですよ、お祝いしようというのは広い意味も含めて先ほど副町長からございましたように南風原町民の日としていうような心でこの一年、南風原でご活躍なさった方を表彰しお祝いしようということで、今後もそういう取組でやっていきたいということです。町制施行の日という意味の中には、議員がおっしゃっていることも含まれているということでご理解いただきたいと思います。

○議長 宮城清政君 3 番 大城 勝議員。

○3 番 大城 勝君 ありがとうございます。つまり、「町民の日」として名付けておけば、愛称として町民の日は 4 月 1 日なのだなというところにたどり着くという話なのですけどもね。それを町制施行日となるとどうも堅苦しくなるから、もうちょっと親近感のあるものにしてはどうかとの提案です。どうもありがとうございました。

次に、町特産品を P R する取組として提案したいことに関してですが、本町の農業特産物としてかぼちゃやへちま、ストレリチア、スターフルーツなどがあります。そのなかの南風原かぼちゃは 2 月下旬から 5 月上旬が出荷の最盛期と聞いております。そこで 4 月 1 日は、まさに真っ盛りのかぼちゃが出回るわけです。町民の日には、お祝いの気持ちを込め、普通は食卓に並ばない南風原町産かぼちゃを食してみるのも良いと思います。流通業者は、生産者の汗の結晶である生産物をいかにして町民の口に運べるか知恵を絞って欲しいと思います。答弁では、くがに市場や南風原物産展、それから花と食のフェスティバルにおいて販売するなどして町民の手に届きやすい工夫を実施しているとありました。私が言いたいのもちょうどそこで、町民に手が届きやすい工夫とはどんなことを言うのか。もしろい工夫があればお聞かせください。

○議長 宮城清政君 産業振興課長。

○産業振興課長 金城郡浩君 今回、こちらで行っている工夫ですけれども、南風原、それから津嘉山完熟かぼちゃの値段が高いということではなかなか手に入らないというお話と、どちらで売っているのかが分からないということが町民からあると考えております。それで、南風原町ではできるだけ身近なスーパーで売れるようにと、南風原では J A スーパーでかぼちゃをその時期に出しています。それから、最近では新しくくがに市場ができましたので、そこへもかぼちゃを出荷して町民に P R をしているのですけれども、その出荷で販売する際にも市場でどんどん値上がりするような値の付け方ではなくて、市場の卸値をもって販売価格にするであるとか、それからくがに市場ではもう少し安くしようということで決め値で販売をして、その差額については J A さんのほうで P R するという活動も実施しています。また、各小中学校に給食の時間をもって P R するということもやってはいるのですけれども、別の機会では祭りの際に手に取っていただけるよう農業青年クラブ、それから農友会等に少し値段を安くして出せるようにとこちらから差額補填を入れながら町民の口に運びやすいというような P R 活動を実施しています。

○議長 宮城清政君 3 番 大城 勝議員。

○3 番 大城 勝君 どうもありがとうございました。だいぶ上手い工夫をされていると感心しました。僕は毎日食べています。ちょっと安いものを食べているのですけれども、安ければ売れるということもありますので、町が補填する財政とかそのへんも考慮されて、どんどん普及するかたちを取っていただきたいと思います。

次に、町民の日の学校給食献立は、南風原町の特産品を扱ってはどうかということですが、子どもたちに学校給食で配給した同じメニューを、町民の日の中央公民館での式典会場でも食品販売をして町民一体となって同じものを食べる日があってもいいと考えます。それに、子どもたちの学校給食メニューの実物を接してみるのも良いと思いますがどうでしょうか。

○議長 宮城清政君 教育部長。

○教育部長 宮平 暢君 町民の日の学校給食メニューに町特産品を使ってはどうかのご趣旨だと思いますが、町制施行日の 4 月 1 日は学校等がお休みであることから給食は提供しておりません。しかしながら、年間をとおして町特産品を学校給食で提供しまして、給食時間に告知をしているところであります。

○議長 宮城清政君 3 番 大城 勝議員。

○3 番 大城 勝君 私の質問の意図がうまくくみ取られていないと思ったのですが、町制施行日の日に、式典会場に集まった人たちにもそれを食してもらってみたいかどうかの質問でした。お答えできますか。

○議長 宮城清政君 総務部長。

○総務部長 新垣吉紀君 施行日にどういった料理を出すかも含めて、まず対応が可能なのかです。今食べ物を提供くださっている所からいろいろ取りそろえたものを出してもらっています。俗に言うオードブルというものです。そこに南風原のかぼちゃを活用してくれということが可能なのかそれも含めて研究してみます。

○議長 宮城清政君 3 番 大城 勝議員。

○3 番 大城 勝君 どうもありがとうございました。いろんなメニューがあると思うのですよね。かぼちゃんブシー（かぼちゃの味噌煮）、なべーらーブシー（へちま味噌煮）でもいいですし、いろんなところで工夫ができると思います。

次の再質問ですが、中央公民館への式典出席者には、例年、琉球絣も見られますが、絣着用を正装として推奨してはどうかとの提案であります。父兄の皆さんが町の催し物、例えば子どもたちの入学式・卒業式の場合や地域でのお祝い事にも絣姿で参加ということが町民に定着すれば、単に絣の普及という枠を超え、南風原町の着物文化となって内外に大きくPRできると考えるのです。ところで、私たちは着物を着けるのは女性だけという既成概念がどこかにありはしないかと思うのです。私は、着付けの先生の助けを借りて着物姿をしてみました。初めてで照れもしましたが、どうにか着けているという自己満足は得ました。南風原の絣着物文化を形成していくには、いろんな角度からの発想もこのように必要であろうと思うわけであります。ここで絣着物文化を単純に論じてしまえるほどのことでもありませんが、ただ、絣事業を絣着物文化まで高めていくには、絣事業に携わっている若者たちの絣継承者としての思い、考えを町行政は大いにくんでやることも大事であろうと考えます。私は、絣事業に従事している若者と話してみてもうことは、これからの絣文化を担っていく若者たちの活力を最大限に引き出せることに町行政は良策を講じて欲しいと考えます。それから、町民の日は多くの人に来てもらえるよう中央公民館や文化センターなどの施設の入館料にも考慮し、それこそ南風原ものづくしに仕立てた行事にしまして、南風原を町内外に売り出すことになってもいいと考えます。

次の質問2にまいります。ホームページから南風原町歌が出力できるかの質問に、音声ファイルを公開したとの答弁でした。大いに利用して欲しいと思います。それから、町歌

などを CD 化して町民に頒布できないかとの質問についてですが、わが南風原町には素晴らしい吹奏楽部を持つ 2 つの中学校があります。大人や子どもたちの歌声合唱団もあります。あるいは、町民から合唱団を組織化しても良いと思います。私は、それらを活用して素晴らしい CD 作製が可能であると考えます。答弁では、ホームページで配信できるようにするとあるのですが、私が CD 盤にこだわりますのは町民の中高齢者は多くがインターネットにまだまだ馴染んでいないと考えるからであります。誰もが母校の歌は忘れないと思います。町の歌や母校の歌を身近に置いて、いつでも聞けて楽しむことができれば更に南風原に対する郷土愛も高まろうと考えます。南風原町を訪れる人たちにも廉価で販売すれば大きな宣伝にもなると思うのです。

次の質問 3 にいきます。区画整理事業についてですが、答弁では全体事業費で約 72 パーセントの状況だとありました。平成 26 年 3 月現在の町発行の事業概要冊子によりますと、施工期間が平成 5 年から平成 30 年とあります。事業はスムーズにいつていると考えられるか。それから、事業が滞っている所があるとすればそれはどこか。保留地処分などの事務的作業も含めて、区画整理事業の完了はいつとの見通しが立つか答弁をお願いします。

○議長 宮城清政君 経済建設部長。

○経済建設部長 金城敬宝君 お答えいたします。津嘉山北土地区画整理事業につきましては、平成 30 年までの事業期間となっております。現在、平成 27 年度までの事業費進捗率が 72 パーセントということで、残額は 28 パーセントの約 85 億円となります。あと 3 カ年となると非常に難しいということで、平成 29 年度あたりに事業期間の延伸を考えているところであります。あと 5 カ年の約 10 億円ペースで考えて平成 35 年度までの施工期間の延長を考えております。区画整理事業というのは、事業費を投じて終わりではございませんので、面整備が終わりますと宅地化測量ということで面積の確定測量が入ってきます。それに伴って、面積に誤差があれば清算金というのが発生してきますので、最終的な完了までにあと 10 年以上はかかるのかと見込んでいるところであります。進捗でどこか支障があるかでありますけれども、なかにはまだご理解がいただけない箇所もございます。事業に入れない部分もあるということとなっております。保留地処分については、今年度から本格的に処分していこうということで取り組んでいるところでございます。答弁いたします。

○議長 宮城清政君 3 番 大城 勝議員。

○3 番 大城 勝君 答弁ありがとうございます。やはりこの区画整理事業は、期間も 30 年を要するということですね。面積も本町の広い面積を占める大掛かりな事業体であります。無事この事業が、一日も早く完了し、次に待ち受けている下水道事業へとつながっ

て欲しいと思うのですけれども、今までの町の下水道事業では後ろに追いやられている照屋や喜屋武、本部の 3 区は、これから下水道事業に本筋で組み込まれていけるのか。通告外ですが、お答えできる範囲での答弁をいただきたい。

○議長 宮城清政君 経済建設部長。

○経済建設部長 金城敬宝君 現在、津嘉山で雨水・汚水の事業を進めておりますけれども、並行して照屋・本部・喜屋武のほうにも、県道で下水道の本管整備を進めております。そういうことで、同時に整備していきたいということで並行して雨水も含めて整備を行っているところであります。

○議長 宮城清政君 3 番 大城 勝議員。

○3 番 大城 勝君 私は照屋出身ですけれども、照屋でも待ち受けていますと言いますか、下水道事業に相当期待しておりますのでよろしくお願いします。

次にいきます。『区画下水道事業ニュース』についてですが、第 27 号の平成 26 年 4 月が一番新しい配信になると思います。そこでお聞きしますが、今は平成 28 年のもう 6 月です。平成 26 年 4 月から 2 カ年にもなりますが、しばらく配信していないのは目新しいニュースがないということでしょうか。

○議長 宮城清政君 経済建設部長。

○経済建設部長 金城敬宝君 区画整理ニュースについては、今まで毎年 4 月 1 日に作って発信し、地権者にも配布しておりました。平成 27 年度も作れていなくて、職員の産休もあってできなかったところもあるかと思いますが、今年度は作成に取り組んでおります。7 月上旬にはおそらく地権者にも送れるかと思っており、今年度は取り組んでいく予定をしております。ニュースがないということではなくて、いろいろ事情があつてできなかったということですのでご理解をお願いしたいと思います。

○議長 宮城清政君 3 番 大城 勝議員。

○3 番 大城 勝君 どうもありがとうございました。まちづくりに対する町民の声を特集して載せてもいいのではないかと提案します。

次に、質問 4. 児童館を機能拡大して子どもの貧困問題解決にも対応可能な施設に強化できないかとの質問についてですが、答弁はその活用方法などについて人材も含め検討を始めるとのことでした。検討を始めるのは対応可能であれば一日も早くがいいわけです。

子どもの居場所づくり、子どもの貧困問題に関する住民の関心は急速に高まっています。十分な検討をしていただきたいと思います。

ところで、児童館が子どもの貧困問題にも対応可能な仕組みを考えると、食事作り、食の教育にも児童の保護者や地域のボランティアなどその地域の人的資源の活用が上手くいって始めてなし得ると私は考えます。地域の人的資源をどう上手く活用できるかは、子どもたちの日ごろの行動を知り尽くした児童館のスタッフである児童厚生員（各児童館に 2～3 人配置）の皆さんが日ごろから地域にどれほど溶け込んだお付き合いができているかによると考えます。私は、先日、児童館を調査しましたが、児童厚生員は保育士や幼稚園教諭の資格を持っていて、児童館の置かれている地域に溶け込むことでより子どもたちを好きになろうとしています。この児童厚生員の心構えが、南風原町の児童館は立派に子どもの居場所づくりに貢献できている評価になると考えます。町行政は、児童厚生員のスタッフが地域との連携を取りやすくするための施策を講じるとともに、ボランティアと呼ばれる地域の人材、例えば民生委員や老人会、婦人会、PTA、子どもたちの保護者会などにも呼びかけ、それが組織化されて児童館を盛り立ててくれるような策を作りたいと思います。どうですか。

○議長 宮城清政君 民生部長。

○民生部長 知念 功君 答えいたします。議員おっしゃいますように、子どもたちの居場所づくりとして、昨今いろいろ取り上げられています貧困の問題につながっても児童館の活用は大変有効な部分があると思います。現在、この児童館においては、21 団体が利用登録をして利用しております。4 児童館がそれぞれの地域でいろいろなサークル等に活用してもらっているところです。そういうなかで議員おっしゃいますように、地域に溶け込んで、そして地域で必要な人材とのつながり、児童館の活用も含めてなのですが、この貧困問題と関連させての活用となりますと一番大事なものは人材だと思います。そういう部分では、副町長の答弁にもありますように人材も含め今検討しております。例えば浦添市の児童館等では児童センターを活用していろいろ取り組んでおりますが、本町もそういう取組ができないか。そのためにはやはりそれを進めていく人材が必要となってくるので、そのへんもしっかり人材の活用含めてのつながりを検討しながら、この貧困問題とも関連して児童館の活用を進めていきたいと思っております。

それから、この貧困問題等、支援が必要な子どもたちを集めて児童館を活用する場合には、現在の南風原町の児童館には食事を作る場が何と言いますかすごく僅かしかございません。本当に小さな流し台とカセットコンロやあるいは通常のガスコンロ 1 台が事務室に配置されているぐらいですので、大掛かりな子ども食堂やイベント的なものをやる場合には改修も必要になってきますのでそのあたりも検討しながら進めていきたいと思っております。



○議長 宮城清政君 3 番 大城 勝議員。

○3 番 大城 勝君 丁寧な答弁をありがとうございました。町内の児童館 1 カ所は直接行って見て、あとの 3 カ所は電話での調査なのですが、今の 4 つの児童館は、地域とはまだまだ疎遠な位置関係にあると感じました。これからの児童館の在り方としては、地域に密着した、その地域から親しまれる存在感のある児童館であって欲しいと願っています。私の子ども時代、皆さんも同じでしょうけれども、路地や広場、川や海、どこも危険はありながらも自由に子どもらしく遊び暮らす日々がありました。今は世の中が都市化し、私たち大人がその遊び環境を守っていかなければならないほどになってしまっています。子どもたちの安心・安全な居場所づくりは、私たち大人の責任であることを強く思い、私の一般質問を終わります。